

選抜の基本方針

- (1) 調査書の「学習の記録」は、3年次に重きを置いて評価する。
- (2) 第1次選抜では、学力検査と調査書の記録をバランスよく評価する。
- (3) 第2次選抜では、調査書の記録を重視して選抜する。

選抜資料

○学力検査の扱い				……………	[500点]
○調査書の扱い	学習の記録の得点	1年 2年 3年 (1 : 1 : 3)	……………	(225点)	} …… [300点]
	特別活動等の記録の得点		……………	(40点)	
	その他の項目の得点		……………	(35点)	
○その他の資料	なし				

一般募集

- 第1次選抜（80%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

①学力検査	②調査書	③その他	④合計
500点	500点	実施しない	1000点

- 第2次選抜（20%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）

⑤学力検査	⑥調査書	⑦その他	⑧合計
500点	600点	実施しない	1100点

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（40点）】

- 学級活動 学級委員、委員長 ※学年ごとに評価する。
- 生徒会活動 会長、副会長、書記、会計
- 委員会活動 委員長、副委員長
- 校内活動 校内行事、校内展等で入賞（3位以内）
- 部活動 部長、副部長、選抜選手
全国大会、関東大会、県大会（展）ベスト8位以上、県大会（展）出場、その他都市大会（展）等において顕著なものを評価する。
※同一種目の結果については、最もよいものを評価する。

【その他の項目の得点（35点）】

- 資格等 英語検定、漢字検定、数学検定等の級位及び武道等の段位等について評価する。
※同種の検定結果については上位を評価する。
- ボランティア活動 活動内容、活動場所、活動日数を評価の対象とする。
- クラブチームなどでの顕著な活躍 活動内容・成績などを評価の対象とする。
※特別活動等の記録の得点と重ならないものとする。

第2志望

なし

その他

なし